令和２年度下半期　公共下水道事業　業務の状況

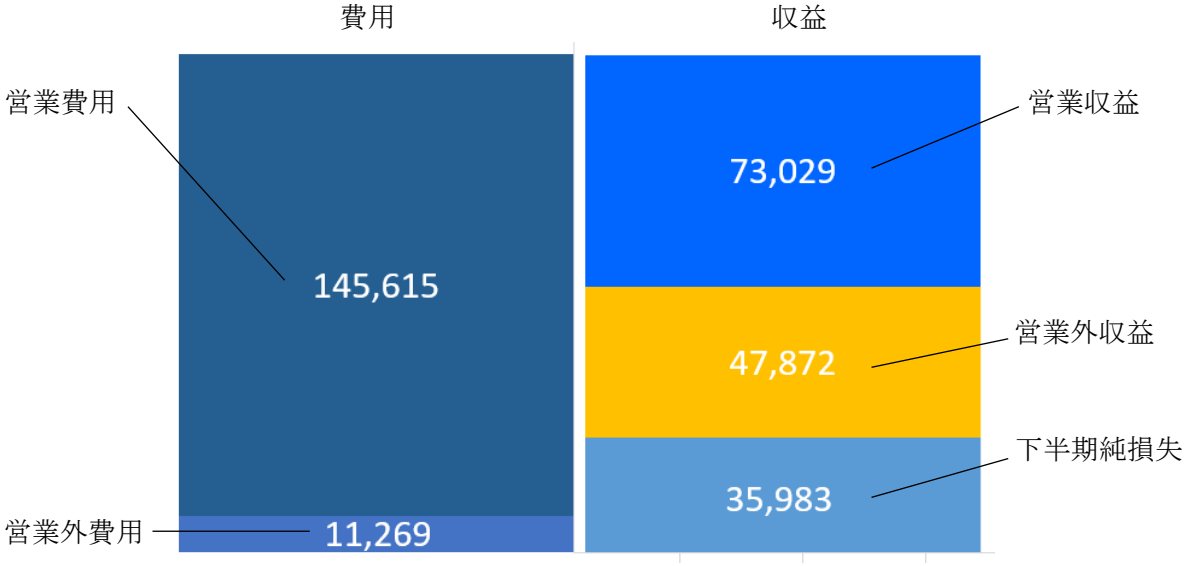
（１）事業の概況

令和２年度下半期の流入汚水量は５３３万 m3 で、主な収入である下水道使用料（税込み）の調定は６億８，３４９万円、収入は６億５，８４０万円となりました。

事業活動については、管渠及び処理場の建設改良事業について、一部翌年度への繰越がありましたが、事故等はなく、概ね計画どおりに進行しています。

流入汚水量	５３３万 m3
下水道使用料収入	６５８百万円（税込み）

（２）経理の状況



（単位：万円）

科　　目	金　　額	科　　目	金　　額
営　業　費　用	１４５，６１５万円	営　業　収　益	７３，０２９万円
営 業 外 費 用	１１，２６９万円	営 業 外 収 益	４７，８７２万円
		特　別　利　益	０万円
		下半期純損失	３５，９８３万円

※ 減価償却費及び長期前受金戻入等については、決算整理を行い確定させるため、当初予算の１／２を計上しております。

※ 消費税整理等決算整理については、加味していない数値となります。

令和３年度伊勢原市公共下水道事業会計予算

予算の概要及び事業の経営方針

本年度の業務予定量は、水洗化戸数３万７，１００戸、年間総処理水量１２１０万㎥、１日平均処理水量３万３，１５１㎥ とし、これを目標に事業運営に取り組んでまいります。

下水道事業収益及び費用においては、収入額３３億４，５００万円、支出額３２億７，９００万円を見込み、主な収入である下水道使用料は、１３億５，４００万円を見込みました。

資本的収入及び支出においては、収入額１７億６，７００万円、支出額２４億６，０００万円で、不足する６億９，３００万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額６，８３６万２千円、当年度分損益勘定留保資金６億２，４６３万８千円で補います。

主な建設改良事業は汚水管渠整備事業及び終末処理場整備事業であり、計画的に事業を進めてまいります。